

第77期 株主通信
2014年夏号
2013年4月1日～2014年3月31日

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より
当社に格別のご支援を賜り、
厚く御礼申しあげます。

ここに、第77期
株主通信2014年夏号を
お届けいたします。

2014年6月
代表取締役社長

山田義仁



当社グループの当期間は全事業部門において増収増益となり、売上高は全社で7,730億円(前期比18.8%増)、営業利益は681億円(同50.1%増)と、過去最高の業績を達成することができました。また、年間配当も過去最高となる1株当たり53円を実施し、株主の皆さまの期待にお応えすることができました。

2011年にかかげた10年間の長期経営ビジョン「VG2020」の最初の3年間のグローブステージでは、中国を中心とした新興国や、環境関連事業など市場成長の追い風を着実に捉えることで大きく成長することができました。また、成長のための収益構造を確立し、更にグローバルでのリスク対策や危機対応の体制も整備いたしました。

今年度からスタートしたアースステージは、2016年度までの3年間をアース1ステージ、2017年度から2020年度までの4年間をアース2ステージとしています。今年度は、全社方針を「“自走的”な成長のためのエンジンづくり」とし、市場の成長を捉えるだけでなく、いかなる事業環境であっても成長を続けられる強い企業を目指します。新しい技術やイノベーションの創出にも果敢に挑戦し、事業を通じて社会的課題を解決してまいります。

今後とも成長を続けるオムロンに、ご期待ください。

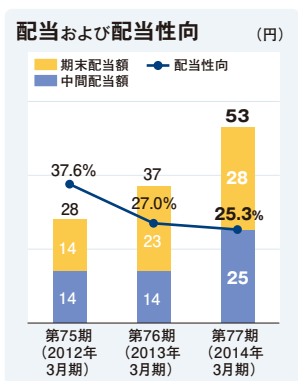
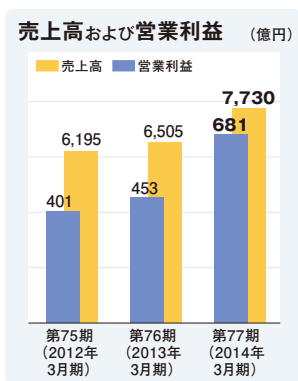
OMRON オムロン株式会社

〒600-8530 京都市下京区塩小路通堀川東入 URL: <http://www.omron.co.jp/>

第77期(2014年3月期) 決算ハイライト(連結)

	実績	計画比	前期比
売上高	7,730 億円	▲3.1%	▲18.8%
営業利益	681 億円	▲4.7%	▲50.1%
売上高営業利益率	8.8%	▲0.1P	▲1.8P
税引前当期純利益	620 億円	0.0%	▲50.4%
当社株主に帰属する 当期純利益	462 億円	▲7.4%	▲52.9%
基本的1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益	209.82 円	▲14.48円	▲72.62円

◎第77期期末配当金につきましては、1株につき28円とさせていただきます。



第78期(2015年3月期)通期の見通し(連結)

売上高	8,000 億円	▲3.5%	前期比
営業利益	740 億円	▲8.7%	
売上高営業利益率	9.3%	▲0.4P	
税引前当期純利益	710 億円	▲14.5%	
当社株主に帰属する 当期純利益	510 億円	▲10.4%	
基本的1株当たり当社株主に帰属する 当期純利益	231.72 円	▲21.90円	

(注) 上記は、2014年4月24日決算発表時点で入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しです。

制御機器事業



世界の主要な製造業の幅広いお客様に対し、センシング技術とコントロール技術を活用したオートメーション機器およびサービスで、ものづくり支援を提供しております。

売上高
構成比

38%

電子部品事業



主に業務民生用機器、車載機器、環境/エネルギー機器、産業機器に内蔵する制御コンポーネントやモバイル機器に内蔵する制御コンポーネントを提供しております。

売上高
構成比

13%

車載事業



世界の自動車メーカー、電装品メーカーに対し、車載用電装品に特化した設計、生産、販売活動を行っております。

売上高
構成比

16%

社会システム事業



安心・安全で快適な社会の実現に向け、センシング&コントロール技術およびソフトウェア、メンテナンスのトータルサービスでソリューションを構築し、お客様とともにより良い社会づくりに貢献しております。

売上高
構成比

11%

ヘルスケア事業



数多くの健康医療機器をグローバルに提供するとともに、それらを医療と結びつけたホームメディカルケア(循環器系疾患の予防・重篤化防止、肥満解消ソリューション)の構築にも注力しております。

売上高
構成比

11%

その他事業

環境事業・電子機器事業・
マイクロデバイス事業・バックライト事業、他



事業の育成・強化や、新規事業の探索・育成を、本社直轄で担当しております。

売上高
構成比

11%

地球上にはまだまだ課題がある



新興国をはじめ、急速に進行する世界の経済成長。そこで暮らす人々のライフスタイルにも大きな変化が起きています。

オムロンは社会の変化を捉え、事業を通じて人々が抱える課題を解決することで、その存在を必要とされ、期待される企業になることを目指しています。

新興国に生まれる「健康」という新たな課題

新興国の著しい経済成長によって食生活が豊かになり、肥満に悩む人の比率が増加。これに伴い、高血圧症や糖尿病を患う方が増えています。しかし新興国においては、まだまだ医療環境が十分であるとは言えません。またこれらの病気に対する知識の伝達も不十分なことが多いというのが現実です。

オムロンは血圧計や血糖計、体重体組成計などの機器の販売を通して、この課題と向き合っています。例えば、病気と向き合うたくさんの人々と接する機会として、町なかで血圧計や体重体組成計による無料測定会を行って、病気の知識やセルフチェックの重要性を知ってもらう活動を行っています。オムロンはヘルスケア機器の販売を通して、これらの国々で暮らすたくさんの人々の健康に貢献しています。



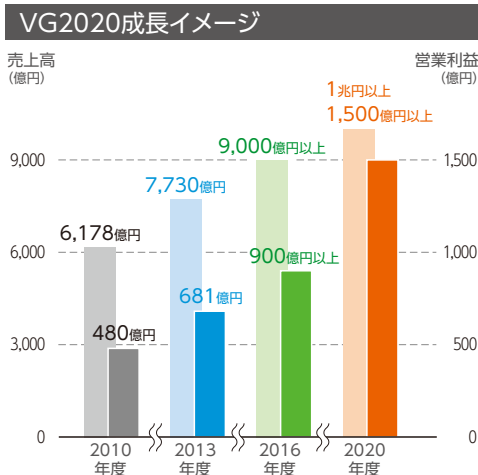
市民向け血圧等の無料測定会(カメルーン)

▶ その他の課題解決取り組み事例を含め、
詳細はホームページをご覧ください。
<http://www.omron.co.jp/ir/story/>

地球上の人々が抱える課題を価値に変える、オムロンの成長ストーリー

地球上にはさまざまな変化が起こっています。環境に関わるもの、経済発展に伴うインフラの変化や人々の健康に影響するものなど、その変化は新たな課題を生み出します。オムロンは制御機器を中心としてヘルスケア、環境、社会システムなど、社会の課題の解決に貢献することができる多くの事業を有し、グローバル展開を進めています。

地球上で起こっている、社会の変化と課題をチャンスとしてすばやく捉え、事業を通じてその課題を解決することを成長の原動力として、収益につなげていく。それが、オムロンの描く成長ストーリーです。



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

配当金受領株主 期末配当金 3月31日

確定日 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人

および特別口座 三菱UFJ信託銀行株式会社

口座管理機関

同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

(電話照会先) **0120-232-711** オペレーター対応
(9:00~17:00 土・日・祝日を除く)

上場証券取引所 東証第一部

証券コード 6645

株式に関するお問い合わせ

- 届出住所・姓名などのご変更
- 配当金の受領方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・買増請求

口座を開設されている証券会社へ
お問い合わせください。

- 特別口座に関するご照会
- 郵送物の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- その他株式事務に関する一般的なご照会

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
までお問い合わせください。
電話照会先は上記をご参照ください。